

令和3年 年頭のあいさつ

会長 渋谷 彰



明けましておめでとうございます。皆様には、希望に満ちた新年を迎えたことと心からお慶び申し上げます。

平素から、シルバー人材センターの事業推進に多大なるご尽力をいただきまして感謝申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症が蔓延し、未だ終息に至らない状況となっております。

その影響は、世界はもとより日本、府中市、当センターにも、社会経済活動に深刻な打撃を与えました。センター会員・家族には辛い感染が広がることはありませんでしたが、会員の就業機会や事業運営に多大な影響を及ぼしました。特に4月の政府の緊急事態宣言発

令後は外出自粛や、一部の会員は就業が制限され、4月から2か月程度就業する機会が奪われ、自宅待機をせざるを得ませんでした。この影響により、令和2年4月から10月までの7か月間の契約実績額は、令和元年と比較して約6千3百万円、12・8%のマイナスとなりました。本年はこのようなことが起きないように願うばかりですが、センターとしても、コロナ禍での会員の健康管理、安全就業について、さらに適切な対応を講じてまいりたいと思っております。

また、会員の就業先を提供するため、企業訪問等を実施していますが、事業の継続、新規の事業開拓をさらに進めてまいります。

さらに、会員相互が「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、地域から信頼されるセンターを目指し業務に取り組んでまいります。

新年にあたり、皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げるとともに、会員皆さまが健康で安全に就業され、生きがいを感じられますよう祈念いたしまして新年のご挨拶とします。

新年のごあいさつ

府中市長 高野 律雄



新年明けましておめでとうございます。

公益社団法人府中市シルバー人材センターの会員並びにご家族の皆様におかれましては、令和3年の新春をお健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、皆様には日頃より、市政の各般にわたり、ご理解とご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

貴センターにおかれましては、地域の発展のため「自主・自立、共働・共助」の理念に基づき、事業内容の充実に努められ、創立以来長きにわたり、市民の皆様からの信頼のもと、着実に実績を築いてこられましたことは誠に同慶にたえません。

これも、渋谷会長をはじめ、歴

代の役員並びに会員の皆様が、就業を通じて安定した運営に努めてこられた賜物であると心より敬意と感謝を申し上げます。

さて、昨年からの新型コロナウイルス感染症の拡大が市民生活に甚大な影響を及ぼしておりますが、本市では、市民の皆さまが安心して、いきいきと幸せに暮らすために、同感染症に対する施策を展開し、また貴センターの活動を支援してまいりる所存でございます。

どうか皆様におかれましては、健康に十分ご留意いただき、今後とも、変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

新春にあたり、公益社団法人府中市シルバー人材センターの皆さまのご発展と、会員並びにご家族皆様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げまして、新年のご挨拶いたします。



「植木剪定講習会」開催

公益財団法人・東京しごと財団の主催で、当シルバー人材センターが共催の「植木剪定講習会」が、10月5日(月)に開催されました。60歳以上の府中市民が対象であり、女性6名を含む19名の方が参加されました。

午後1時からふれあい会館会議室で、事務局の石田職員の司会進行により、植木剪定の座学が開かれました。

まず、関根常務理事から、当シルバー人材センターの会員状況、事業実績や、植木班は現在37名の会員が活動し、年間5千万円ほどの売上実績を誇っていると報告されました。続いて、植木班班長の宮本講師から「剪定作業は樹形を整え、風通しを良くして病害虫が付くのを防ぐ」と説明があり、剪定、刈込みでのハサミの使い方、剪定作業の注意点や剪定の適切な時期などの解説がありました。

次は、近くの中央文化センターに移動しての体験講習です。参加者の皆さんが、動きやすい服装で3班に分かれ、そのグループに植木班のベテラン会員9名が指導にあたります。ヘルメットや剪定バサミなどを各自に配り、樹形全体を見ながらの実践の剪定作業です。

脚立は安定感のある3本足のものを使う。上部の赤いステップは危険なので上がらない。刈込みバサミは、右手の刃を動かして刈込む等の説明を受け、高木や低木を交代で剪定す

る体験講習でした。中には初心者と思えない手つきの方も見受けられ、シルバー会員としての入会が楽しみです。



総務委員会活動

総務委員会は、令和元年6月以降、徳田委員長、智田副委員長ほか6名の委員が任命され、活動しています。

総務委員会の役割は、会員の増強と研修、新入会員の説明会、会員就業の心得や接遇関係、市民との会員交流、女性入会促進などがあります。

このうち、入会説明会は、毎月第1火曜日に開催され、入会希望者の面談はその後5日以内に事務局職員により行われています。また、入会後の会員研修は3か月毎に開かれましたが、昨年3月からの新型コ

ロナウイルス感染防止のため、「接遇業務」研修マニュアルを郵送し、返信アンケートの提出により研修修了証を発行しています。

会員数の増強に向け、第三次中期目標の2千人に対し、昨年12月時点で1,983人に達していて、引き続き目標に向かって注力していきます。

(総務委員長 徳田豊彦)



地域委員会活動

昨年春ごろの異常気象、さらには新型コロナウイルスの蔓延により感染防止が叫ばれ多数の人が集まる行事等は自粛や中止をせざるを得なくなり、府中市に於いても「市民桜まつり」「多摩川ボランティア清掃」も中止となりました。

センターの行事である「ふれあい会館まつり」をはじめ通年行事であ



る「地域貢献ボランティア」年1回の「地域懇談会」についても三密を避ける観点から自粛しております。その為、話し合いの場が少なく、仕事上の問題等で、お困りの事と思えます。

是非、地域の班長さんを通じて情報の交換をして下さい。

又、地域委員会では令和3年に市内の美化運動を年1回実施するボランティア活動を計画中です。

区域は、府中市内の中河原駅、分倍河原駅、府中駅、多磨霊園駅、付近の市道を約一時間程度の清掃予定です。

場所は、四駅の中から自由に選択出来るようになっていきます。

具体化しましたらご案内しますので、是非会員の皆様のご参加をお待ちしております。

(地域委員長 芝辻昌三)



令和3年の年男
佐藤考司さん



佐藤さんは府中市番場（現在の宮西町）で男子3兄弟の次男として育ちました。

生粋の府中っ子で、丑年生まれ今年72歳です。子供の頃の府中は自然が豊かで、下河原線の線路や多摩川の砂利を掘った穴などでよく遊んだそうです。公務員として65歳まで勤め、シルバー



令和3年の年女
田中宏子さん



田中宏子さんのお生まれは、東京都中野区です。そこで高校を卒業して就職しました。就職時には、高校在学中に習得した和文タイプライターの資格を活かしたそうです。

結婚されて府中の西府町に住むようになりまし。その後、60歳頃から住吉小学校の掃除の仕事に就きました。その頃

丑年生まれの元気な会員さん

に入会し、「ふすま障子張替班」に入り6年になります。年末にかけてふすま・障子の張替依頼が多く、今は仕事を断るくらい忙しい毎日です。
仕事をしていたよかったです。お客さまから喜んでいただけることです。
趣味は、息子さんと一緒に40歳から始めた剣道ですが、現在は腰を痛めて休んでおられるそうです。二人の息子さんも独立し、今は奥さんと二人の生活で、今年も健康で仕事を続けていきたいと、笑顔で応えていただきました。

から、西府町と住吉小学校の間を自転車で元気に往復されています。
住吉小学校の掃除の仕事のあと、シルバー人材センターの紹介で同小学校の簡易事務業務に従事しています。お一人で、先生方のお手伝いをする仕事ですが、楽しく働かせていただいています。
趣味のギターは、新型コロナウイルス騒動で練習会や発表会ができず、コロナの早い終息を願っています。そのほか、国立の谷保天満宮周辺を中心にしたウォーキングで、健康維持に努めておられるそうです。

シルバー人材センターでのご利用代金は、地元応援商品券「ふちゅちけ」でもお支払いできます。

商品券の使用期限

令和2年11月9日(月)～令和3年3月10日(水)

商品券の種類

A券(緑色) / B券(赤色) どちらも使用可
額面は一枚500円 ※おつりは出ません



計 報

河原 峯夫 (武蔵台)
白井 登 (紅葉丘)

慎んでお悔やみ申しあげます

編集後記



令和2年は新型コロナウイルスが猛威を振るい世界中が大打撃を受けました。昨年の秋から年末にかけて残念ながら第三波の兆しが見え始めていましたが、当センターも重大な事態にならずに新年を迎えることができました。とは、皆様のご協力のたまものであり、感謝を申し上げます。
当センターも就業が一時休止になった職群もあり、会員の皆様には大変なご苦労をおかけしました。

そのような状況にもめげずに励まれた皆様には心より御礼を申し上げます。

新しい年、令和3年には、各種の行事や、就業が計画通りに行われ、皆様の活気が戻り、ますます発展することを願ひ、会員とご家族の皆様にとりまして健康で、希望にあふれる年となりますよう願っております。

(広報委員会 清水)

